

平成 13 年度授業実践

学校名：岐阜市立加納中学校

授 業 者 等	授業日	平成 14 年 3 月 25 日	学 年	1 年
	授業者	長谷川 淳	教科等	英 語
	校 種	中学校	単 元	共に生きる(読み物教材)
	ねらい	まとまりのある英語を読み，筆者が伝えたいことについて考える活動を通して，世界中の学校へ行くことができない子どもの現状を知ることができる。		
授 業 の 流 れ	○子ども達のメッセージを読み取る。 南アジアの女の子（8 歳） 『両親が働いているため，自分が幼い弟や妹の世話をしなくてははいけない。』 東南アジアの女の子（9 歳） 『学校が遠いのに加え，文房具を買うお金がない。』 東南アフリカの男の子（6 歳） 『戦争中で学校どころではない。』			
	○読み取りの視点をもつ I don't attend school.とはどういうことだろう。 何ができないと言っているのだろう。 なぜ What is school?と言っているのだろう。			
	○難民の様子を伝えるホームページを見て，現状をつかむ。 ・ 写真を見てわかることを交流する。 ・ 動画を見てわかることを交流する。			
	○読み取りからわかったことを参考に，自分の考えをまとめる。			
考 察	・ 映像が，英文の理解を助け，この単元で生徒に知ってほしいこと・考えてほしいことを容易に伝えることができた。			
	・ 静止画像よりも，動画を使うことで，より強く共感できるようであった。 ・ 未習の語句を辞書等で調べないで，意味を予測して読み取るために，写真や動画の資料は大きな助けとなった。			